

桐生繊維業界の実態

平成元年1月～12月

桐生市繊維振興協会

平成元年12月末現在

桐生繊維業界の概況

1.	調査対象団体数	21団体（桐生商工会議所繊維部会除く）
2.	産地収入	(昨年比較)
(1)	生産高	431億1,260万円（114%）
(2)	加工収入高	234億5,915万円（102%）
(3)	販売高	175億9,901万円（99%）
	合計	841億7,076万円（107%）

3.	総組合員数	1,194事業所
4.	総従業員数（家族従業員含）	7,813人
5.	一事業所当り従業員数	6.5人
6.	一事業所当り生産販売加工高	7,049万円
7.	その他参考	

		(比較)
54年産地収入	1,078億1,166万円	(100)
55年	1,170億6,380万円	(109)
56年	1,110億8,757万円	(103)
57年	1,083億3,093万円	(101)
58年	1,023億634万円	(95)
59年	976億1,960万円	(91)
60年	917億1,760万円	(85)
61年	853億4,182万円	(79)
62年	804億8,548万円	(75)
63年	783億8,548万円	(73)

1. 組合員数及び従業員数

所属団体		組合員数 事業所	従業員数					従業員 平均年齢 才
			従業員		家族従業員		計 人	
			男人	女人	男人	女人		
桐生織物協	広幅協議会	456	272	288	432	615	1,607	51
	内地協議会	214	556	890	76	95	1,617	51
桐生織物商業協		5	20	12	0	0	32	40
桐生織物産地元売協		21	50	23	4	9	86	41
両毛輸出織物整染工		27	490	243	40	27	800	51
桐生染色協		38	215	35	19	21	290	47
桐生繊維製品協		35	180	700	25	35	940	29
桐生糸商組合		23	26	7	1	3	37	48
東日本編レース工		27	60	58	30	21	169	43
桐生撚糸工		43	6	40	45	49	140	55
桐生婦人子供服製造協		9	15	111	13	12	151	30
両毛輸出スカーフ協		10	6	8	10	8	32	-
桐生織物整経協		76	5	35	90	86	216	56
桐生意匠協		39	18	5	9	13	45	41
桐生紋紙協		28	17	2	35	24	78	-
東毛ジャカード刺繍協		12	28	33	14	22	97	30
桐生刺繍商工業協		68	208	335	130	142	815	40
桐生金銀糸協		14	35	9	0	7	51	45
桐生織物買継商友会		26	9	0	27	27	63	48
群馬県綿スフ織物工		107	188	238	29	47	502	45
(協)シルク・ルネッサンス群馬		14	2	20	14	14	50	51
桐生テキスタイル商業グループ		9	24	21	0	0	45	35
計		1,194	2,428	3,093	1,029	1,263	7,813	-

- 注(1) 桐織協の組合員数の数字は、群馬県綿スフ織物工の107事業所を含む。
 (2) (協)シルク・ルネッサンス群馬は、他の組合と重複しているので、計算に含まず。
 (3) 桐生糸商組合は、組合員23社中4社分の計です。

2. 生産、加工高及び受注（出荷）先区分（工業部門）

単位 万円

所 属 団 体		生産高	加工高	計	昨年 比較	取引先区分	
						県内	県外
桐生織物協	広幅協議会	1,297,310	-	1,297,310	105	0	100
	内地協議会	713,059	65,995	779,054	111	0	100
両毛輸出織物整染(工)		-	515,152	515,152	102	30	70
桐 生 染 色 協		-	176,840	176,840	104	59	41
桐 生 織 維 製 品 協		110,000	696,000	806,000	93	10	90
東 日 本 編 レ ー ス (工)		618,000	-	618,000	104	52	48
桐 生 撚 糸 (工)		-	32,785	32,785	104	90	10
桐生婦人子供服製造協		126,111	46,099	172,210	79	0	100
桐 生 織 物 整 経 協		-	33,044	33,044	102	90	10
桐 生 意 匠 協		34,958	-	34,958	107	70	30
桐 生 紋 紙 協		42,412	-	42,412	91	92	8
東毛ジャカード刺繍協		84,633	-	84,633	105	3	97
桐 生 刺 繍 商 工 業 協		600,000	780,000	1,380,000	111	0	100
両毛輸出スカーフ協		48,000	-	48,000	105	0	100
群馬県綿スフ織物(工)		286,777	-	286,777	106	0	100
桐 生 テ キ ス タ イ ル 商 業 グ ル ー プ		350,000	-	350,000	-	80	20
計		4,311,260	2,345,915	6,657,175	110	36	64

3. 販売高及び出荷先区分（商業部門）

単位 万円

所属団体	販売高	昨年比較	桐生市内	県内	県外
桐生織物産地元売協	590,701	94	0	0	100
桐生織物商業協	269,055	104	0	0	100
桐生糸商組合	451,895	100	67	3	30
桐生金銀系協	180,500	100	80	10	10
桐生織物買継商友会	267,750	105	0	0	100
計	1,759,901	101	29	3	68

4. 内需向，輸出向区分

単位 万円

所属団体	内需向		輸出向		計
	金額	割合	金額	割合	
桐生織物協広幅協議会	1,048,496	81	248,814	19	1,297,310
桐生織物商業協	123,674	46	145,381	54	269,055
両毛輸出織物整染工	416,426	81	98,726	19	515,152
桐生染色協	130,155	74	46,685	24	176,840
桐生繊維製品協	797,000	99	9,000	1	806,000
東日本編レース工	593,280	96	24,720	4	618,000
桐生刺繍商工業協	1,370,000	99	10,000	1	1,380,000
桐生金銀系協	84,835	47	95,665	53	180,500
両毛輸出スカーフ協	3,360	7	44,640	97	48,000
桐生織物整経協	25,439	77	7,605	23	33,044
桐生意匠協	31,928	91	3,030	9	34,958
桐生紋紙協	37,662	89	4,750	11	42,412
群馬県綿スフ織物工	283,628	99	3,149	1	286,777
計	4,945,883	87	742,165	13	5,688,048

5. 各団体の取扱品目

団体名	品 目				
	割 合	割 合	割 合	割 合	割 合
桐 生 織 物 協 (広 幅 協 議 会)	合 織 織 物	人 絹 織 物	絹 織 物	ベンベルグ 織 物	そ の 他
	57	21	12	3	7
桐 生 織 物 協 (内 地 協 議 会)	帯 地	広 巾	服 飾 工 芸	着 尺	
	72	11	9	8	
桐 生 織 物 商 業 協	化 合 織 物	二 次 製 品			
	97	3			
桐 生 織 物 産 地 元 売 協	帯 地	着 尺	服 飾 工 芸	二 次 製 品	そ の 他
	63	14	5	4	14
両 毛 輸 出 織 物 整 染 (Ⅰ)	ニ ッ ト	合 織	人 絹	絹	
	59	34	6	1	
桐 生 染 色 協	合 織	レ ー ヨ ン	綿 ウール等	絹	
	46	32	11	11	
桐 生 織 維 製 品 協	ブ ラ ウ ス	ニ ッ ト シ ャ ツ	ワ ン ピ ー ス	コ ー ト	そ の 他
	75	9	5	3	8
桐 生 糸 商 組 合	化 合 織	生 糸	綿・スフ	そ の 他	
	65	18	15	2	
東 日 本 編 レ ー ス (Ⅰ)	カ ー テ ン レ ー ス	衣 料 レ ー ス	資 材	そ の 他	
	78	15	5	2	
桐 生 撚 糸 (Ⅰ)	合 織 撚 糸	人 絹 撚 糸	絹 撚 糸		
	55	30	15		

注：桐生糸商組合は、組合員23社中4社分の数字です。

桐生婦人子供服製造協	婦人 ブラウス	スカート			
	99	1			
両毛輸出スカーフ協	スカーフ				
	100				
桐生織物整経協	整 経				
	100				
桐 生 意 匠 協	帯	洋 反	インテリア	夜 具	そ の 他
	19	15	9	8	49
桐 生 紋 紙 協	紋 紙	エンドレス			
	58	42			
東毛ジャカード刺繍協	ワッペン	ワンポイント 刺 繍	Tシャツ	トレーナー	そ の 他
	42	19	15	13	11
桐生刺繍商工業協	婚礼関係	ブラウス 加 工	婚礼加工	ハンカチーフ	雑 貨
	36	25	15	13	11
桐 生 金 銀 糸 協	金 銀 糸	関連製品			
	80	20			
桐生織物買継商友会	帯	二次製品	着 尺	広巾・服地 そ の 他	
	68	25	2	5	
群馬県綿スフ織物(工)	衛生材料	硝 子 織 維 織 物	婦人服地等		
	77	13	10		
桐生テキスタイル 商 業 グ ル ー プ	婦人服地	インテリア 資 材	そ の 他		
	60	30	10		

6. 生産加工部門の現有設備状況

所属団体	設 備 名	数量	所属団体	設 備 名	数量
桐生織物協 (内地協議会)	広巾織機	152	桐生婦人子供 服製造協	本縫ミシン	132
	並巾 "	1,308		ロックミシン	32
	小巾 "	259		特殊ミシン	52
	レピア "	191		その他	2
	計	1,910		計	218
桐生織物協 (広幅協議会)	超自動織機スルーザー	66	桐生織物 整経協	整経機	91
	" レピア	641		ワインダー	5,514
	自動及び普通織機	2,352		計	5,605
	計	3,059			
両毛輸出織物 整経(口)	精練漂白機	75	桐生意匠協	拡大機	35
	乾燥機	118		コピー機	19
	染色機	124		コンピューター	18
	仕上機	69		パンチング	11
	計	386		計	83
桐生染色協	染色機(常圧噴射式)	135	桐生紋紙協	ピアノマシン	70
	" (高圧 ")	43		裁断機	33
	" (汎 ")	46		編機	46
	チーズ及チーク	71		ワンパンチ	30
	計	295		その他	69
桐生織維 製品協	縫製ミシン	1,200	桐生刺繡 商工業協	計	248
	プレス	75		横振ミシン	1,960
	裁断機	70		ジャカードミシン	4,200
	計	1,345		計	6,160
東日本編 レース(口)	ラッセル機	194	群馬県綿スフ 織物(口)	広巾普通織機	176
東毛ジャカード 刺繡協	ジャカードミシン	65		小巾 "	243
桐生撚糸(口)	イタリー式撚糸機	138		超自動レピア	49
	合撚式 "	52		ガラス繊維織機 (規制外・レピア4台含む)	134
	アップワインダー	8		計	602
	長谷式	3			
計	201				

7. 最近の推移（元年10月～2年2月）

所属団体		受注，引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比	上昇	変わらず	下降	前年対比
桐生織物協	広幅協議会		○		100		○		100
	内地協議会		○		100		○		100
桐生織物商業協		○			104		○		100
桐生織物産地元売協			○		100			○	94
両毛輸出織物整染口			○		100		○		100
桐生染色協			○		100		○		100
桐生繊維製品協				○	95		○		100
桐生糸商組合			○		100		○		100
東日本編レース口		○			102		○		100
桐生撚糸口		○			110	○			110
桐生婦人子供服製造協				○	80		○		100
両毛輸出スカーフ協		○			130	○			200
桐生織物整経協			○		100			○	98
桐生意匠協		○			107		○		100
桐生紋紙協				○	95			○	90
東毛ジャカード刺繍協		○			105		○		100
桐生刺繍商工業協		○			110	○			110
桐生金銀糸協			○		100		○		100
桐生織物買継商友会		○			105	○			105
群馬県綿スフ織物口		○			105	○			105
計		9	8	3	102	5	12	3	106

1. 桐生織物協同組合（広幅協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

輸出向け織物については、メタル織物が復活の兆があり本年に大いに期待している。

国内向け婦人服地については、最近やゝ受注が減少しているが、今後は、昨年同様明るい見通しである。

★ 状況、事業概要

- ・輸出向け織物は、円高、ニーズの追い上げ等で前年対比で数量、金額とも23%の減少となった。
- ・国内向け広幅織物は、前年対比で数量で17%、金額で15%の増加で堅調のうちに推移した。
- ・そのうち婦人服地は、約20%の増加でレーヨン、合織ものの増加が目立った。
- ・インテリア、寝装品関連は、引続いて堅調で数量、金額とも前年対比で9%増加している。
- ・ショール、スカーフ等の受注増で一時的に織場スペースの不足や仕上げ加工のおくれ等が心配されたが、全般に好調な経過をたどった。

★ 今後の課題

輸出向け織物は、相変わらず厳しい環境が続くものと思われるが、メタル織物の復調とともに毎年開催している海外見本市が今後もその効果を発揮するものと期待している。

一方内需向けは、分業の関連企業との協力のもとに、生産体制の強化をはかり、平成元年7月より施行の新繊維法を研究し具体化することが必要であり、桐生市繊維振興協会を中心に産地対策の強化が最重要課題となる。

2. 桐生織物協同組合（内地協議会）

★ 商品、消費者ニーズの変化について

'90年代に入り博覧会、ふるさと創成などの各種イベント等により、夏の浴衣に増加のきざしがあり、これに合う帯は桐生の本命商品であるので、期待がもたれる。

★ 状況、事業概要

昭和63年まで連続して減少してきた和装部門が本年は持ち直し、全体として生産金額が前年比10%の伸びをみた。内容的には当産地の本命であるカジュアル製品が不振で、フォーマル製品に移行がみられた。

商品別にみると着尺部門は横這いであったが、帯地部門が伸びた。依然袋帯中心のフォーマル商品が中心であるが、やゝ頭打ち傾向がみられる。

市況は3月までは消費税直前のかけ込み需要でやゝ好調であったが、逆に4月からは低調であった。

特に原材料の生糸の乱高下があり困惑した。この中で和装部門が増加傾向に転じたことは、各企業の新製品開発と、組合の積極販売金が実をむすんだものと思われる。

3. 桐生織物産地元売協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

当組合の取扱品は帯、着尺、和装品等が主体となっているが、民族衣裳嗜好として和装に対する要望はまだまだ強いものがあり、これに対応する商品作りに懸命に努力している。

★ 状況、事業概要

当組合の取扱高は別記明細の通りであるが今期は前年対比上半期は僅かながら上昇気運であったが下半期に入り組合員中大手の企業倒産が起り前年対比85%と減少し年間に於て94%に落込んだ。

★ 今後の課題

当桐生産地の特徴を活し和装品のみに限らず、あらゆる衣料、特に刺繍・二次製品等に就いても桐生ブランド製品の開発に努め繊維品の取扱い業態として取組むことが必要である。

4. 両毛輸出織物整染工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

比較的ロットが大きく、かつシーズン性緩和に役立っていた輸出向け加工が減少し、内需向け加工へ転換を余儀なくされている。内需についてアパレルや流通段階のリスク回避を図るため、売行を確認しながら、期近の発注で、短納期を迫るケースが増加している。

★ 状況、事業概要

上記の状況から、一層多品種、小ロット化が進み、すべての生産設備での納期短縮は設備面でのハード、生産管理、工程管理、出荷管理などソフトの両面で合理化が必要で、企業にとって大きな努力を必要とする。業界は受託加工形態であるため、自由的な研究開発が困難な状態にある。取り扱う素材が多様で加工操作がそれぞれ異なるため、経験に依存するところが大きく、これが加工技術及びその周辺技術の近代化を遅らせている。

消費者のニーズの多様化に伴って、製品の高付加価値化、多品種、小ロット短納期化に対応した技術の開発、導入が強く要請される。

★ 今後の課題

経営基盤強化の確立をめざして、

- ①消費需要の多様化、短サイクル化を反映し、生産面での多品種小ロット短納期化が進行することによる諸問題の解決に努めなければならない。
- ②加工条件の決め方…マニュアルの増大、原反等取り扱い作業の増大、ロット替、仕掛時間等のダウンタイムの増大、受渡し、倉庫管理の複雑化、労働生産性の低下、コストの上昇等、経験或いは熟練による対応の限界を越えていることは明白であり、全ての管理面などが複雑となり効率が低下し、取引条件悪化の要因でもあり、この改善に業界あげての努力が必要である。

5. 桐生染色協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズの個性化、高級化指向は相変わらず強いためか複合繊維、及び細番手の原糸も多く出廻り、触感、風合い、色合いなど重要視されてきている。

★ 状況、事業概要

昨年繊維業界は内需主導で経過してきており加工数量は前年に比べ若干増加したが小ロットものの比率は増加している。

また、最近重油価格が値上りしつつありこのため加工コストが押し上げられ採算的にきびしい一年であった。

★ 今後の課題

昨年は加工数量が若干増加したものの、多くの課題を抱えている。主なものを挙げれば、

1. 加工品の小ロット、短納期化、及び重油価格の値上がり傾向のため加工コストの上昇。
2. 人手不足。
3. 悪臭物質等規制強化に伴う公害対策等。

これらを解決するためには小ロットに対する加工賃の見直し、労働環境の整備、機械化、省力化、技術の向上を図り、より一層魅力ある職場とすることに努めねばならないと考える。

6. 東日本編レース工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

インテリア特にカーテンレースは窓装飾の多様化、高級志向によりチェンラッセルの複雑なものが要求された。衣料は依然として天然糸使いが多くなっている。細巾は益々高級なりバレース調になっている。

★ 状況、事業概要

編レース業界は大型景気にささえられて堅調に推移しているが、製品の多様化、小ロット加えて操業日数の減少、労働力不足により生産数量は1%位の伸びに止まっている。したがって原料高も加わって採算的には厳しい状況になっている。

インテリア関係はカーテンレースが数量にて6%の伸びを示しているが反面採算的に不利なのれんは15%の減少になっており衣料関係も一部カーテンレースに移行している。

細巾衣料は一般品は依然として低調、高級品は活発、広巾衣料は逐次活気を取りもどしている。

資材関係は「アカスリタオル」が活発である。

★ 今後の課題

今後の課題として主なものを次にかかげる。

1. 人手不足及び製品の短サイクルに対応するため柄出装置のコンピュータ化
2. 量的志向から質的志向への転換

3. 新しい設備を導入し多様化需要に応えられる生産体制の確立
4. 縫製部門の充実、レースカーテンの振興を図る
5. 若手労働力の確保
6. 労働時間の短縮

7. 桐生撚糸工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

繊維素材の多様化が進み製品の高級化と、細分化の中で技術の向上と、スピードアップを図らなければならない。

★ 状況、事業概要

国内全般の高原景気の中で関連業種によりバラツキがあるが当業界の主流である化合繊撚糸は比較的好調であった。特に住宅関連のレース部門と、婦人服地用の強撚糸部門はフル操業を続け、人手不足の為、労働が過重になっている。

★ 今後の課題

各種繊維製品の素材として欠かせぬ加工部門である。その生産性と高品質化はますます要望が強くなり、その期待に対応して行かなければならない。その為には、高性能機械の導入と労力の確保が最重点に取り組みねばならず今後積極的に対応して行きたい。

8. 桐生婦人子供服製造協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者ニーズの好みの変化により高級品本物志向、多様化、個性化、高感度感性の高品が好まれている。

★ 状況、事業概要

全般に好景気に好転して個人消費を中心に内需が大きな盛り上がりを示し全産業に浸透しました。

アパレル業界におきましては、素材の投入遅れが目立ち生産に苦慮した一年であった。前年の約10%増加売上である。

★ 今後の課題

アパレル業界に於ても、労働力不足高齢化の進行に加えて労働時間の短縮等深刻なる問題に直面しております。これからの業界を見た時にこの時短による生

産減をどうカバーするか、企業団体の一層の合理化、急速な変化等厳しい時代の心構えが重要な課題である。

9. 桐生織物整経協同組合

★ 状況、事業概要

織物全般の過当競争のあおりと、業者の在庫不足のため、作業と原料の兼ね合いが悪くて、染色即整経と忙し過ぎて、その後の見通しが不明で安心できない現況である。

★ 今後の課題

高令者が増えて、若い後継者がいなく、低迷による受加工量の減少と、塗炭の苦しみが続く。

10. 桐生意匠(協)

★ 状況、事業概要

去年に引続き輸出の減少の中、各企業個々の努力で売上は、ほぼ横這いで推移した。ダイレクトの動入によるフロッピーの作成等紋紙部門の加工等が増えその分だけ売上が上昇した。

★ 今後の課題

新しい商品作りが望まれている現今、我々業界に課せられた使命は重大である。この中でデザインの開発により一層のノウハウを必要とするために情報の収集を重点に考えて行かなければならないと思う。仕事の作業も関連する業種においてはさらに連絡を図りながら協調して行く事が大切である。

11. 桐生紋紙協同組合

★ 状況、事業概要

受注量は各企業においてばらつきが目立つようである。企業の40%が上昇組であり60%が下降変らずである。

製造出荷額は前年比9%減少した。織機の高速化により、エンドレスペーパーの出荷が増加し、又、ダイレクトジャカード導入にともない紋紙に変るフロッピーディスクの納入が増加した。

★ 今後の課題

1. 過剰設備防止対策
2. 後継者問題の解決

12. 東毛ジャカード刺繍協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

消費者の高級化指向により、特殊刺繍とコンピューター刺繍等を組合せると
いう様な高級付加価値の商品が求められる様になった。

★ 状況、事業概要

1月から3月は、消費税導入前のかけこみ受注等により例年になく受注増だ
った。4月以降は消費税導入等によって一時的に混乱はあったようだが、企業
の設備投資、個人消費といった民間需要に支えられたおかげで、フル生産をし
ても受注消化ができない程忙しい1年だった。

★ 今後の課題

業界は分業化によりここまで成長してきたが、今後は一貫体制で生産ができ
るような工場づくりをめざしていかないと他産地に負けてしまう。

13. 桐生刺繍商工業協同組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

素材面、技術面での高級化志向がみられる。

★ 状況、事業概要

ブラウス他雑貨系は時期的な物が多いため相変らず忙しい時期には非常に忙
しいという傾向が続いているが、従業員の確保が難かしく生産の伸び悩みがみ
られた。

婚礼衣裳関係は例年以上に高級化された商品の開発がなされてきたがまだま
だ横這い状態である。

おのおの製品を吟味しストックをなくすことで対抗してゆきたい。

★ 今後の課題

- ① 零細企業が多いため情報の交換親睦場として未加入者へ組合加入の増強
を積極的に推進してゆきたい。
- ② 技術者の養成等、技術研修等を行いたい。

- ③ 各企業とも人材不足の問題を抱えているため機械設備で生産能力を向上させ新技術の開発とそのスピードを図るように推進する。

14. 群馬県綿スフ織物工業組合

★ 商品、消費者ニーズの変化について

- ガラス繊維関係は、多品種、小ロットで品種が増加し、品質基準が上昇している。
- 医療用ガーゼ等については、病院等で滅菌済商品の需要が増加している。

★ 状況、事業概要

- ガラス繊維については、昭和63年8月会社の組織変更により品種が変化し、多品種、小ロット化により、工程の混乱が生じ前半では品質低下によりロスが増加、収益面で厳しい状況にあった。しかし後半種々の対策により回復し、安定化して来ている。
- 医療用品については、売上は増加したが、収益率は低下している。医療用品は、脱脂綿、ガーゼ、生理用ナプキン、紙おむつ等の製造販売を行っている。
- 綿織物については、プリントの下生地が多いが、輸入の増加は、今後とも影響は大きい。

★ 今後の課題

- ガラス繊維については、新鋭機の導入によるコストダウンにより、国内価格競争に対応して行くこと。新商品の開発及び高付加価値商品の増強。新分野への方向の模索。
- 医療用品については、高令化社会に対応出来る商品の開発が今後の課題となる。
- 多品種、小量、短サイクルに対応出来る産地生産体制の確立が必要である。

15. 桐生テキスタイル商業グループ

★ 商品、消費者ニーズの変化について

婦人服地のファッション動向の変化が著しく、素材面で天然繊維から化合繊維複合時代となり、それを得意とする桐生産地は好調な受注に推移している。

★ 状況、事業概要

上記の様なファッション傾向の変化によるフォローな環境となり受注、出荷、共に前年比大きく増加している。(受注、出荷共前年比 130 %アップ)

★ 今後の課題

- ① 海外のファッション情報及び消費者ニーズのタイムリーな把握を行う為のマーケティング。
- ② ニーズに対応しての商品開発。
- ③ 企画、開発、提案が行なえる様なチームプレー。

上記①②③が円滑に行なわれる様な垂直的な組織づくり。

桐生市繊維振興協会会員名簿

団 体 名	代 表 者	所 在 地	電 話
桐 生 織 物 協	小 林 松	桐生市永楽町 5-1	43-2511
桐生商工会議所繊維部会	木 村 一 蔵	" 織姫町 2-5	45-1201
桐 生 織 物 商 業 協	木 村 市 雄	" 永楽町 6-6	22-7567
桐生織物産地元売協	木 村 一 蔵	" "	22-9120
両毛輸出織物整染工	朝 倉 融	" "	22-2775
桐 生 染 色 協	塚 本 祐 平	" "	22-9661
桐 生 織 維 製 品 協	栗 原 守 男	" 仲町 3丁目 15-20	43-5115
桐 生 糸 商 組 合	川 村 治 朗	" 仲町 3丁目 15-6	44-4171
東日本編レース工	小 堀 文 男	" 永楽町 6-6	22-3847
桐 生 撚 糸 工	田 中 堯	" 稲荷町 4-29	44-9431
桐生婦人子供服製造協	中 島 静 雄	" 川内町 1丁目 47-14	65-7143
両毛輸出スカーフ協	古 谷 恒	" 浜松町 2丁目 8-20	44-1771
桐 生 織 物 整 経 協	高 久 勇 雄	" 永楽町 6-6	22-9184
桐 生 意 匠 協	柘 植 洋 二	" "	22-7088
桐 生 紋 紙 協	高 橋 金五郎	" "	22-5854
東毛ジャカード刺繍協	西 村 千 春	" 新宿 3丁目 7-34	43-1166
桐 生 刺 繍 商 工 業 協	村 田 永 昌	" 永楽町 6-6	22-7919
桐 生 金 銀 糸 協	今 西 洋 右	" 巴町 2丁目 1,832	22-8539
桐生織物買継商友会	小 沢 圭 正	" 広沢町 2丁目 3125-53	54-0030
群馬県綿スフ織物工	小 林 松	" 永楽町 5-1	43-2511
協シルク・ルネッサンス群馬	岩 崎 秀 雄	" 菱町黒川 1,042	44-6559
桐生テキスタイル商業グループ	木 島 清	" 相生町 5丁目 13-4	52-4125